

# 令和2年度 第3回モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会 技術セミナー(Web配信)



※申込後、開催日前日までにメールでセミナーのURLをご案内します。  
インターネット環境があれば、URLをクリックするだけで、パソコンやスマートフォン等から参加(視聴)いただけます。  
※ライブ配信となります。講演中にQ&Aで質問を受け付けます。  
※ZOOMが出力する映像や音声の録画、撮影、録音は禁止します。  
※当日の資料は事前にメール配信するアドレスからダウンロードしていただきます。

## 『水素社会に向けた取り組み』

### 講演1 「新型ミライのFCシステム開発」

トヨタ自動車株式会社 トヨタZEVファクトリー FC製品開発部 主査 高橋 剛 氏

<プロフィール>

1989年 4月 トヨタ自動車(株)入社、車両実験に従事

1992年 燃料電池開発に従事

2005年 FC技術部機能設計室室長

2010年 「新型燃料電池ハイブリッドシステムの開発」で自動車技術会技術開発賞を受賞

2010年 技術統括部にて次世代電動車(EV、PHV、FCV等)の導入企画を担当

2017年 FC製品開発部にて次期FCシステム(新型MIRAI)開発統括、現在に至る

#### <概要>

カーボンニュートラルを目指し世の中が動きつつある中、水素への注目が高まっています。トヨタは2014年に初代ミライを、2020年12月に新型ミライをリリースしました。新型ミライのFCシステムの進化を性能(出力、航続距離等)、コスト、大量普及に向けた技術開発等の観点で紹介します。

### 講演2

## 「2050年に向けて水素社会が目指すもの」

一般財団法人 日本立地センター 客員研究員 中村 博氏

<プロフィール>

慶応大学を1974年卒業後、三井造船入社。1987年本田技術研究所、本田技研工業を経て、2009年から福岡のHyTReC、秋田大学その他、山梨県におけるアドバイザーなど多くの場で活躍。現在は、日本立地センターの他、東京流研特別顧問、山梨県産業労働部およびリニア交通局、山梨大学でも活動、藤精機技術顧問も務める。

#### <概要>

まずは、2050年カーボンニュートラル実現の意義を検証し、では、何をしないと行けないのかを述べます。次に水素・FC関連の動きがコロナ感染拡大前と後でどの様に変化しているかを各国の水素戦略などにに基づき紹介。最後に未来の車社会に関連して水素利活用社会実現可能性をモビリティ分野での水素ビジネス展開で報告します。

### 日時

令和3年2月16日(火) 13:30~15:40

### 参加費

自動車産業部会会員：無料  
公社会員：1,000円  
上記以外(一般)：2,000円

### 申込締切日

自動車産業部会会員は2月9日まで。  
公社会員及び一般の方は2月4日まで。2月9日までに参加費を振り込んでいただき、入金確認後、前日までにセミナーのURLをご案内します。

### 問合せ

(公財)埼玉県産業振興公社 次世代自動車支援センター埼玉 IOT・技術支援グループ  
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-621-7051 FAX 048-857-3921  
URL <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha/>

### 申込先

ホームページからお申込みできます。 <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha-20210216jidosha/>